

第1章

七尾市の現況と課題

1. 七尾市の概況
2. 七尾市の現況と課題

1. 七尾市の概況

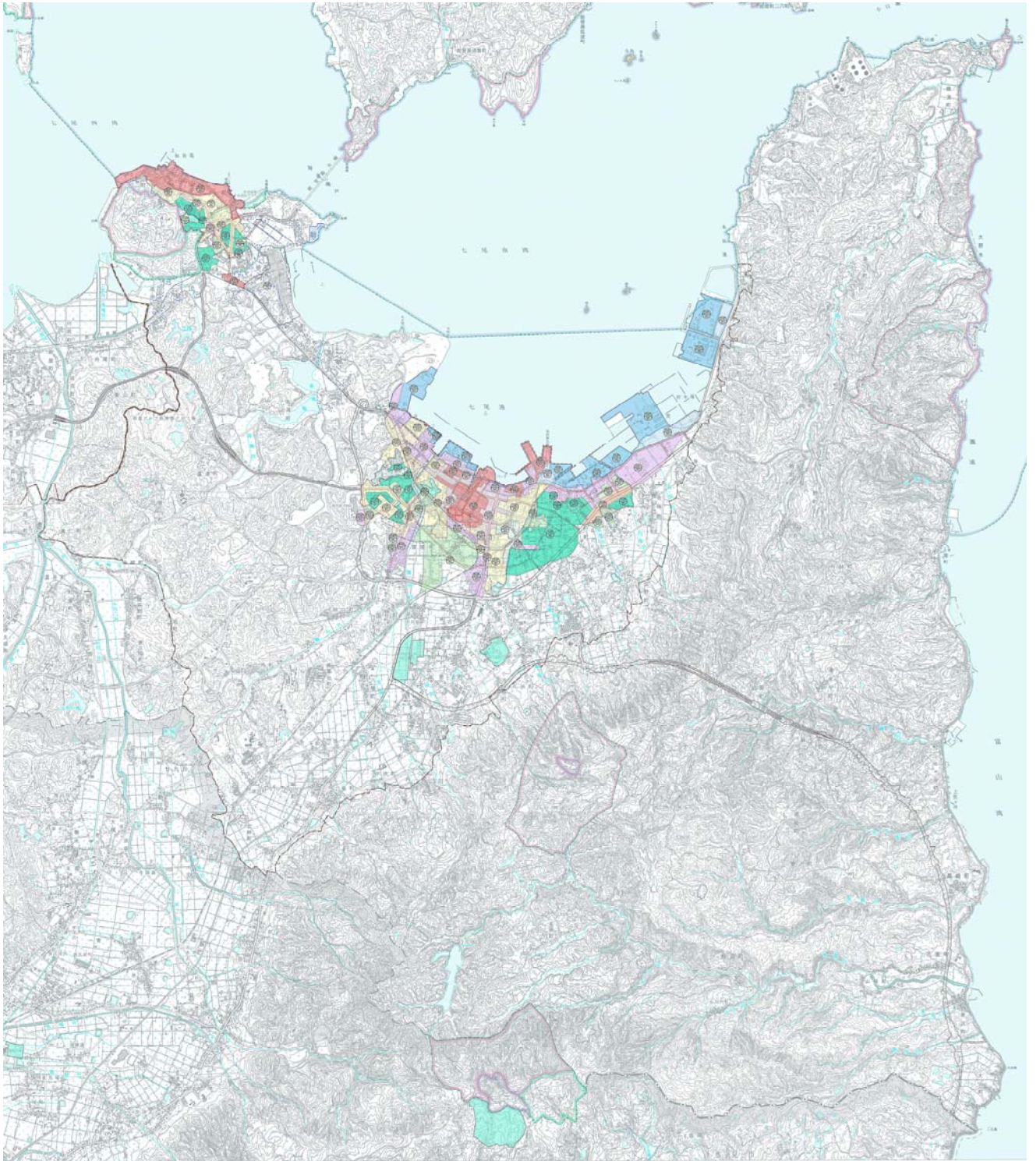
本市は、石川県の北部、能登半島のほぼ中央に位置し、北側は穴水町、西側は志賀町、南側は中能登町及び富山県氷見市とそれぞれ接しています。

本市は、東西に約 24km、南北に約 26km、318.02k m²の面積を有し、市の中心部には七尾西湾、七尾南湾が広がり、北に能登島が浮かび、東は富山湾に面しています。

七尾南湾に臨む七尾港周辺に市街地が展開し、東西は山地に挟まれ、南は平野が広がっています。日本海と七尾湾の海岸線、山並みが重なり合い、美しい自然景観を創出しています。



■ 七尾市の広域的な位置 ■

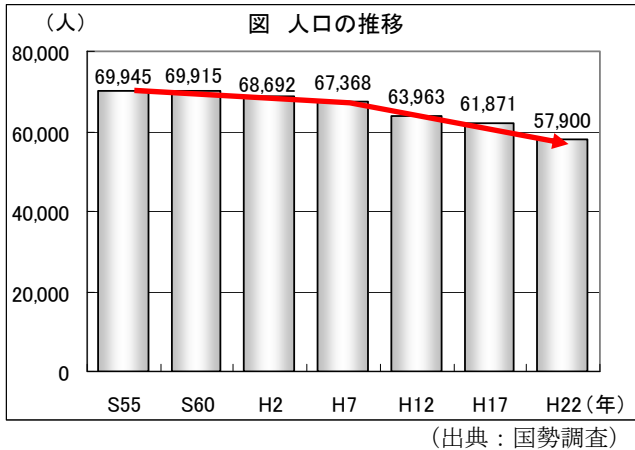


■ 七尾都市計画図 ■

2. 七尾市の現況と課題

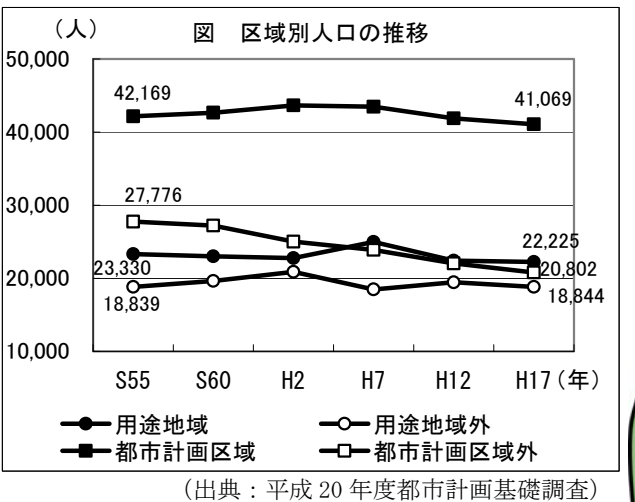
現況1 人口、施設などの動向

人口の減少が加速

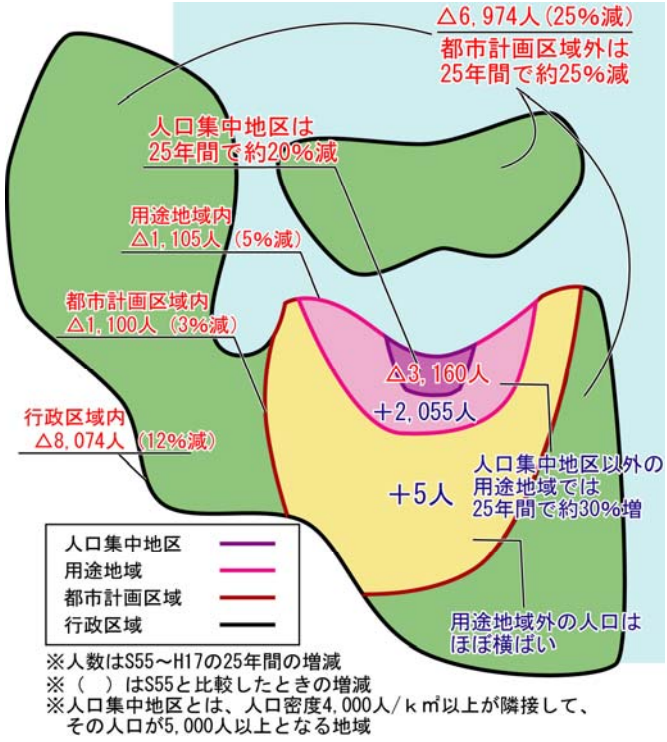
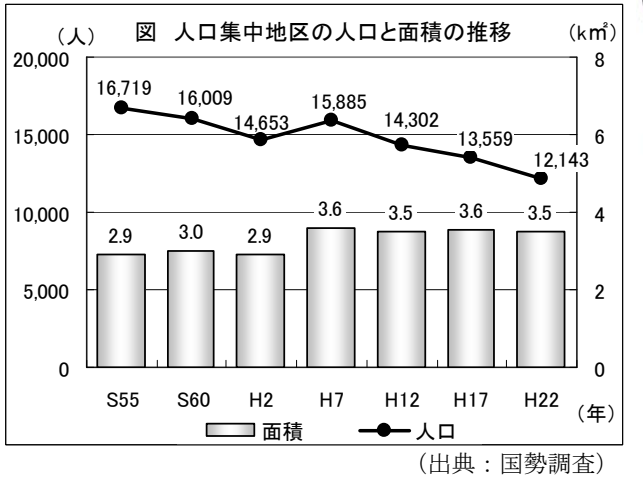


・七尾市の人口は減少傾向にあり、特に近年の減少が著しい

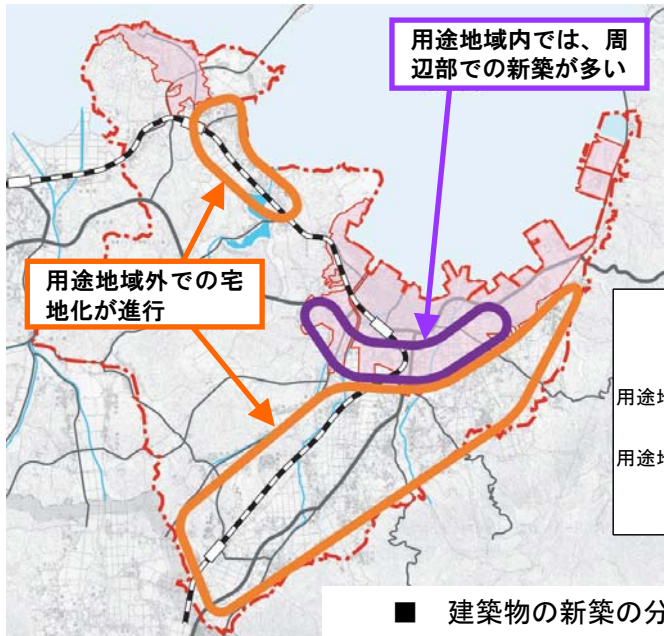
低密度な市街地が拡大



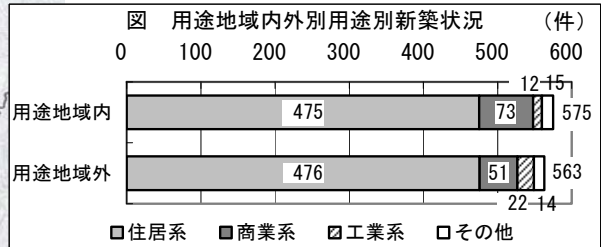
・人口は市街地中心部で減少し、その周辺部で増加



都市機能が郊外化



・都市計画区域内の新築の約半数は用途地域外 (H15～H19)



(出典：平成20年度都市計画基礎調査)

■ 建築物の新築の分布状況 ■



・大規模小売店舗が市街地外にも立地

(H10以降に立地した大規模小売店舗のみ名称を記載)

■ 大規模小売店舗 (店舗面積 1,000 m²以上) の立地状況 ■

現況のまとめ

七尾市全体の人口は減少傾向にあり、市街地中心部や都市計画区域外で人口の減少が進む一方で、郊外の市街地では人口が増加しており、低密度な市街地が拡大しつつあります。また、郊外型の商業施設の立地などにより、都市機能の郊外化が進みつつあります。

課題設定

課題1 人口減少社会における都市活力、都市運営の維持

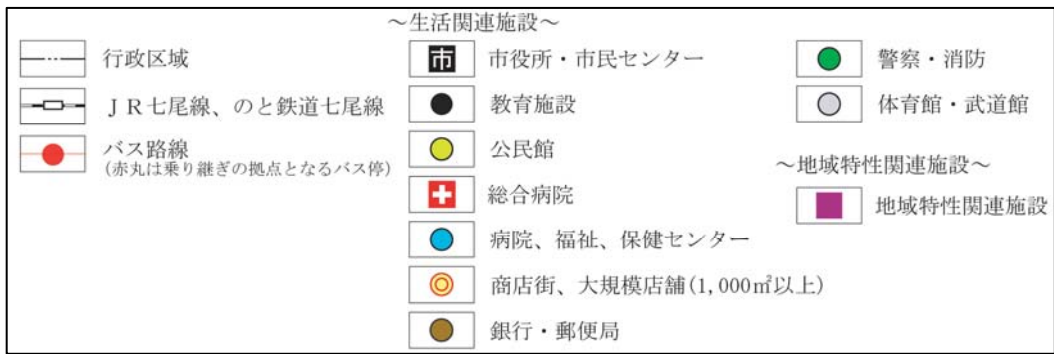
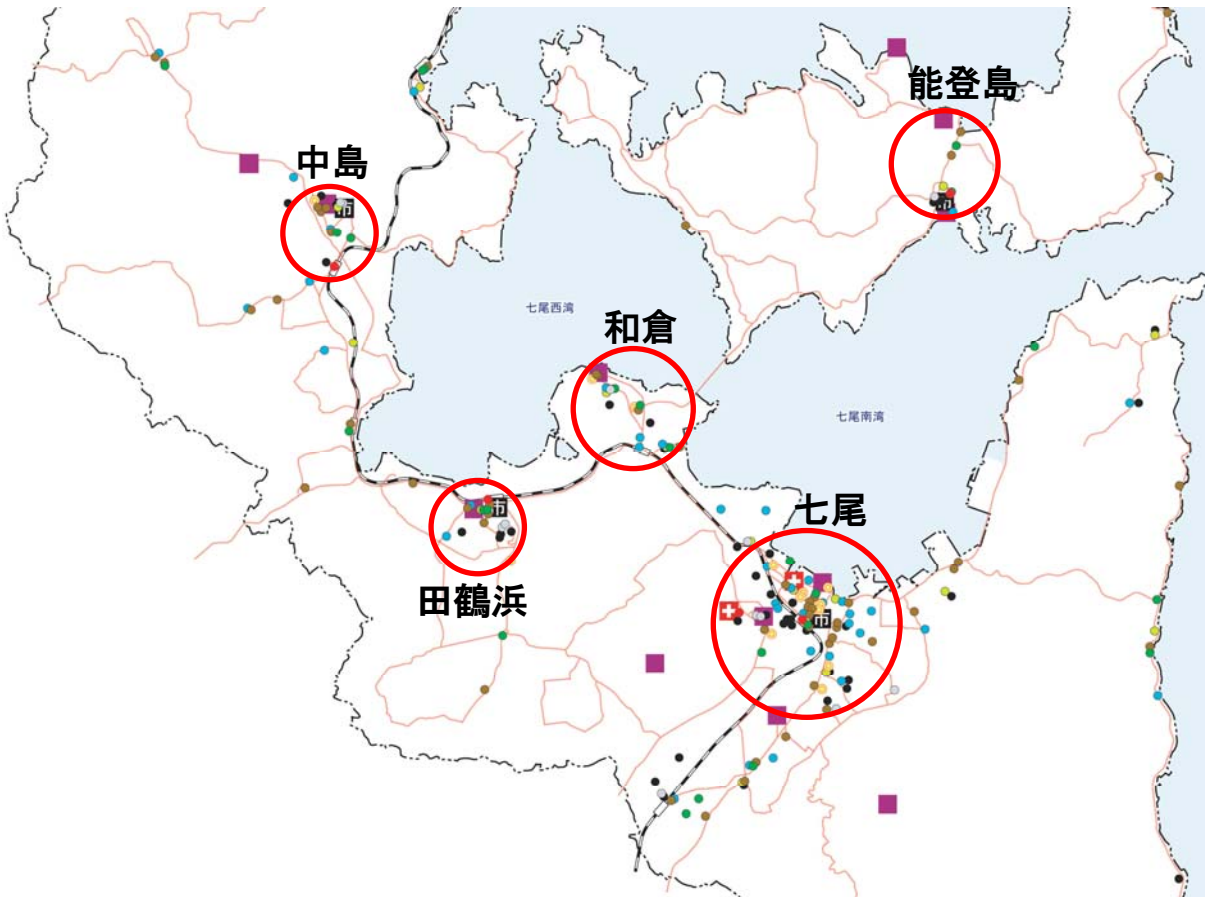
都市運営コストが増大しつつあるため、既存のストック※を活用した都市整備を計画的に推進するとともに、広域的な交流・連携への積極的な仕掛けや戦略的な土地利用の誘導などにより、都市活力、都市運営の維持に向けたまちづくりを進める必要があります。

※ストック：現在までに蓄積されてきた道路・公園・下水道などの都市基盤や住宅・商業・工業などの都市機能及びそれぞれの地域で育まれてきた資源

現況2 市民の日常生活の状況

生活関連施設の集積する生活の場が複数分布

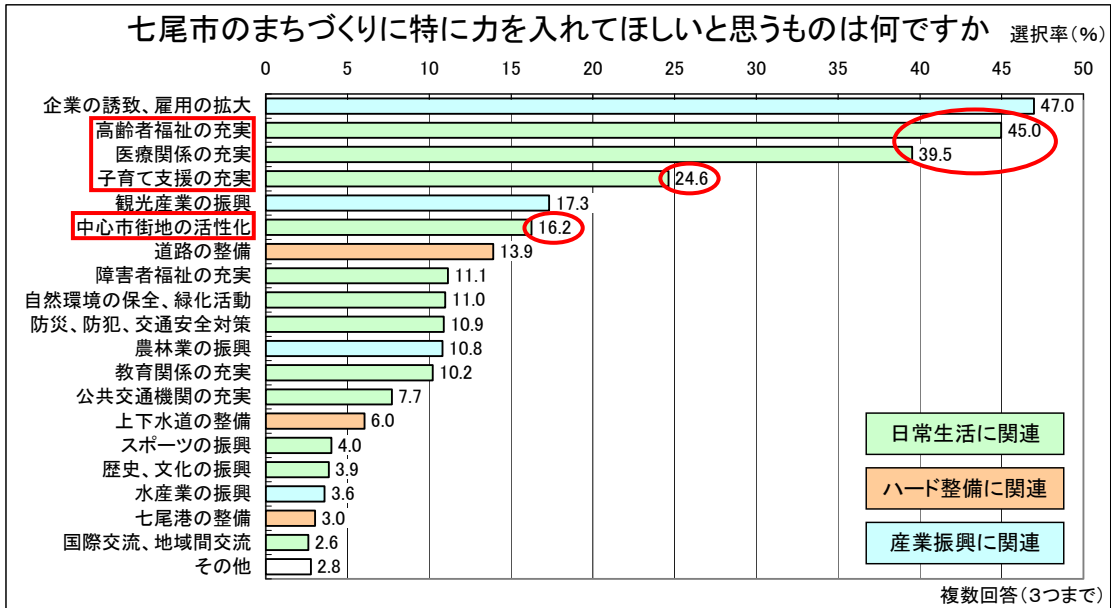
- ・七尾、和倉、田鶴浜、中島、能登島のそれぞれの地域に生活関連施設が集積する生活の場がある



■ 生活関連施設の分布 ■

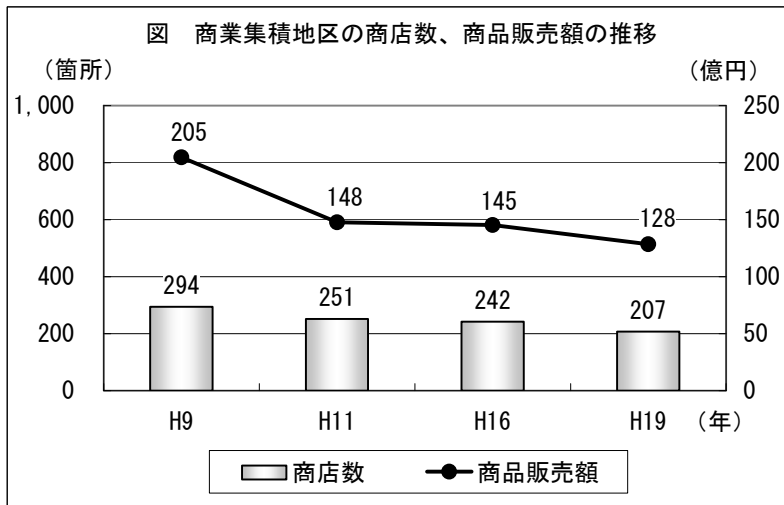
日常生活に関連する要望が強い

・高齢者福祉、医療、子育て支援、中心市街地の活性化等の日常生活に関連する要望が強い



(出典：まちづくりに関する市民アンケート結果 (H19.11))

生活に密着した商業機能が低下



・商店街における商品販売額は10年間で約40%減少

- 商店街
- ・和倉温泉商店連盟
 - ・一本杉通り振興会
 - ・中央通り商店街
 - ・東部商店街振興会
 - ・七尾駅前通り振興会
 - ・小丸山大通り振興会

(出典：商業統計調査)

現況のまとめ

七尾市には、それぞれの地域に生活関連施設が集積する生活の場があり、市民の日常生活の中で受け継がれてきた、生活の場と一体となった多様な地域特性を有していますが、日常生活に関する改善要望が強く、身近な商店街での商品販売額は大幅な減少となっています。

課題設定

課題2 地域の特色を活かすための生活環境の改善

今後とも、地域特性を活かしながら地域の活力を維持していくためには、性別や年齢、障害の有無などに関わらず、全ての市民が安全に安心して住み続けることができるように生活環境の改善を進める必要があります。

現況3 地域資源

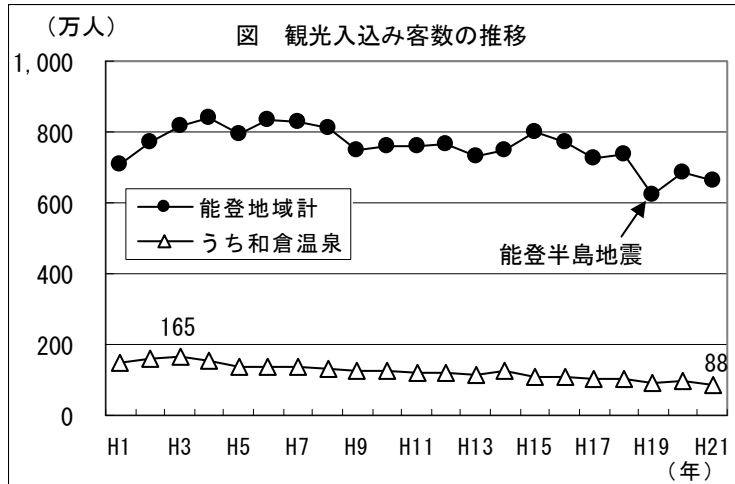
豊かな自然や歴史・文化に根ざした豊富な地域資源が分布

The map illustrates the distribution of regional resources in Noto City, categorized into four main areas:

- 芸術・文化 (Art & Culture):** Includes the 能登演劇堂 (Noto Drama Theater) and the お熊甲祭 (Okuma Kagari Festival).
- 観光 (Tourism):** Includes the のとしま水族館 (Notojima Aquarium), 向田の火祭 (Mukai no Hi Matsuri), and the 能登島ガラス美術館 (Notojima Glass Museum).
- 癒し (Healing):** Includes 和倉温泉 (Wakura Onsen) and 湯元の広場 (Yunomiya Plaza).
- 伝統産業 (Traditional Industry):** Includes 田鶴浜建具 (Tsuribama Joinery).
- 多様な都市機能 (Diverse Urban Functions):** Includes 七尾 (Noto), 和倉 (Wakura), and 田鶴浜 (Tsuribama). Specific facilities shown are ミナ・クル (Mina Kuru), JR七尾駅 (JR Noto Station), 能登総合病院 (Noto General Hospital), 七尾美術館 (Noto Museum), and 七尾港 (Noto Port).

(お熊甲祭、向田の火祭の出典は七尾百景プロジェクト)

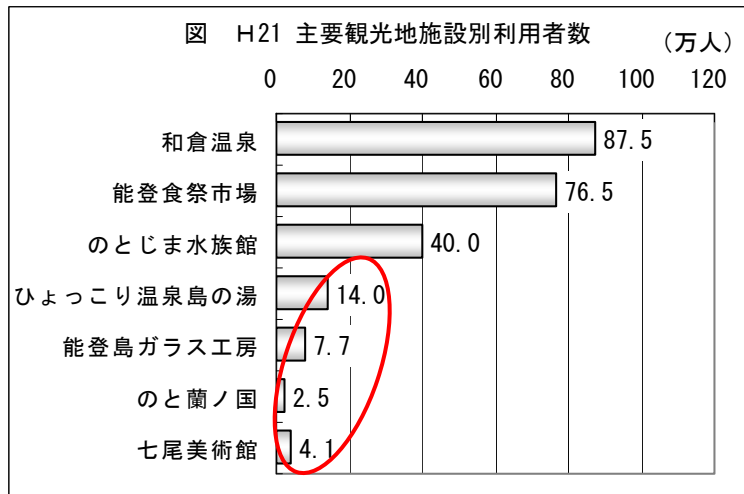
観光入込み客数が低迷



・和倉温泉の入込み客数はピーク時からほぼ半減

(出典：統計からみた石川県の観光)

各観光拠点間の回遊性が不十分



・和倉温泉から他の観光施設への回遊性が不十分

(出典：統計からみた石川県の観光)

現況のまとめ

七尾市は、美しい海岸線を有する七尾湾や国定公園に指定されている能登島をはじめ、城山、赤蔵山、別所岳などの市街地を縁取る山々、趣のある農村集落などが四季折々の美しい景観を呈しています。また、歴史的価値の高い能登国分寺跡や七尾城跡などの史跡の他、貴重な有形・無形の文化財などが数多く存在し、能登演劇堂を拠点とする演劇文化が市民に浸透しています。

ただし、和倉温泉の入込み客数は減少傾向が続いており、これらの貴重な地域の宝を活かしきれていない状況にあります。

課題設定

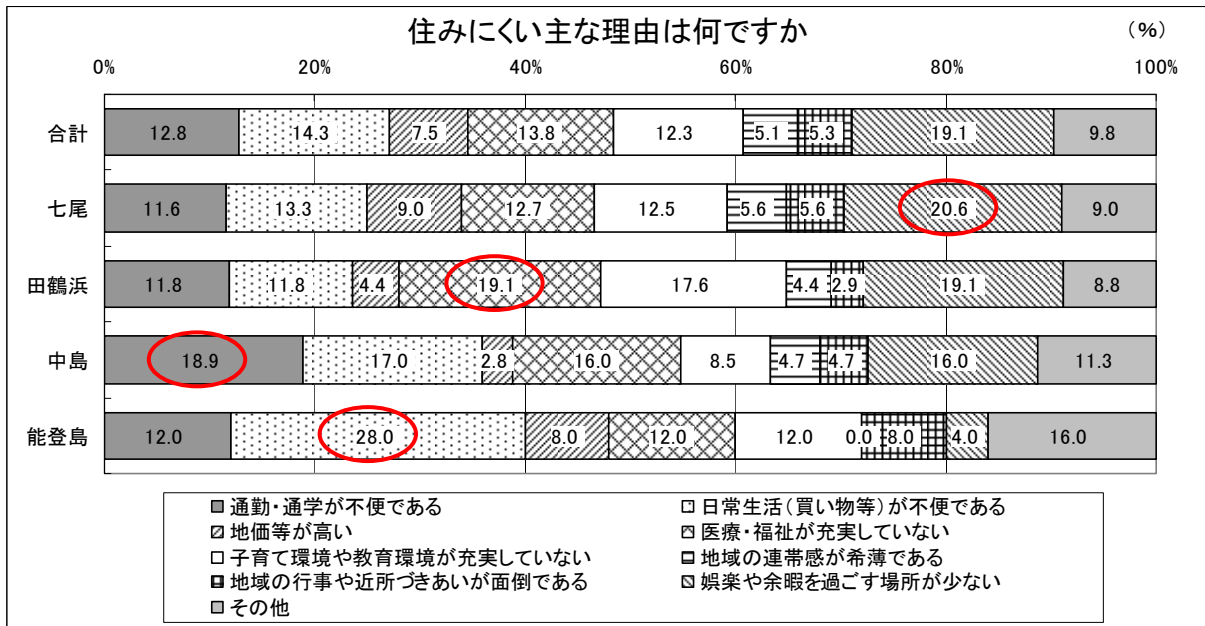
課題3 地域の宝のまちづくりへの活用

和倉温泉を中心として、主要な観光施設などとの回遊性を高めることにより、豊かな自然や歴史・文化に根ざした豊富な地域資源を単に保全・継承するだけでなく、まちづくりに積極的に活用していく必要があります。

現況4 地域特性と交通の状況

地域の弱みを補うネットワークが不足

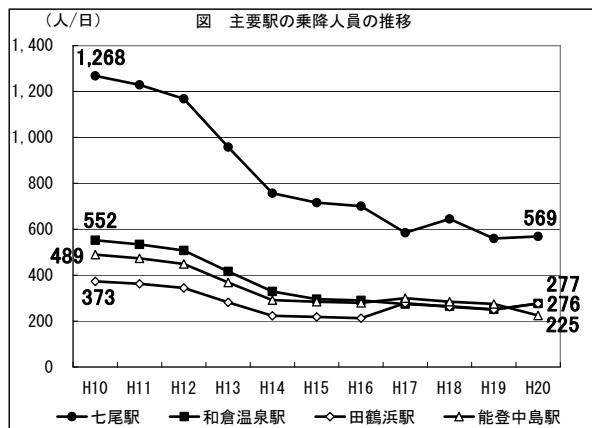
- ・地域によって住みにくい理由が異なる
- 七尾：娯楽や余暇を過ごす場所がない
- 田鶴浜：医療・福祉が充実していない
- 中島：通勤・通学が不便
- 能登島：日常生活（買い物等）が不便



(出典：まちづくり市民意識調査結果 (H20.9))

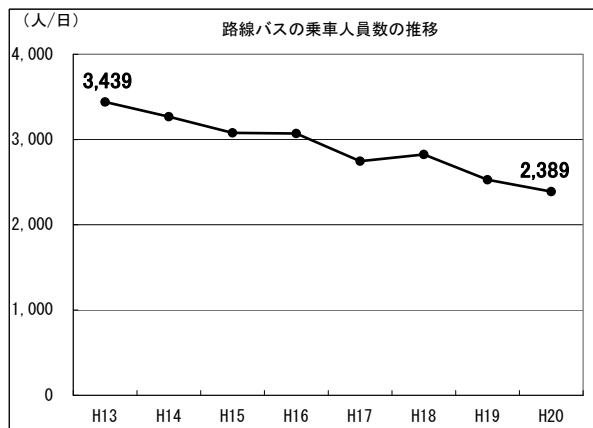
既存の公共交通が活かされていない

- ・七尾駅は10年間で利用者が半減



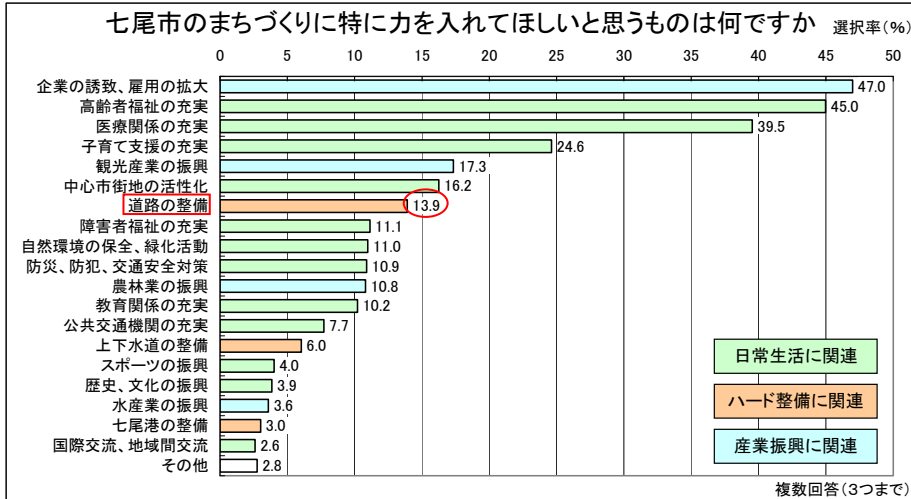
(出典：西日本旅客鉄道(株)金沢支社、のと鉄道(株))

- ・路線バス利用者は7年で約30%減少



(出典：北鉄能登バス(株)、能登島交通(株))

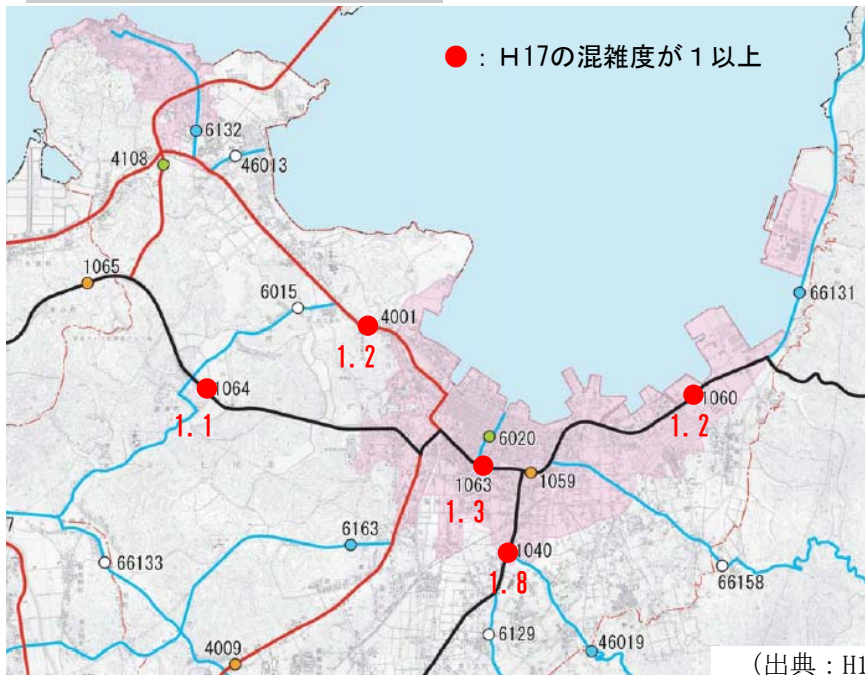
道路整備に対する要望が強い



・ハード整備に関連する項目では、道路整備に関する要望が強い

(出典：まちづくりに関する市民アンケート結果 (H19.11))

自動車交通の利便性が低下



・国道などの幹線道路の一部で混雑がみられる

(出典：H17道路交通センサス)

現況のまとめ

地域によって住みにくい理由が異なりますが、そうした弱みを補完すべき公共交通の利用者は減少傾向にあり、地域間を連絡する幹線道路の一部でも混雑が発生しています。

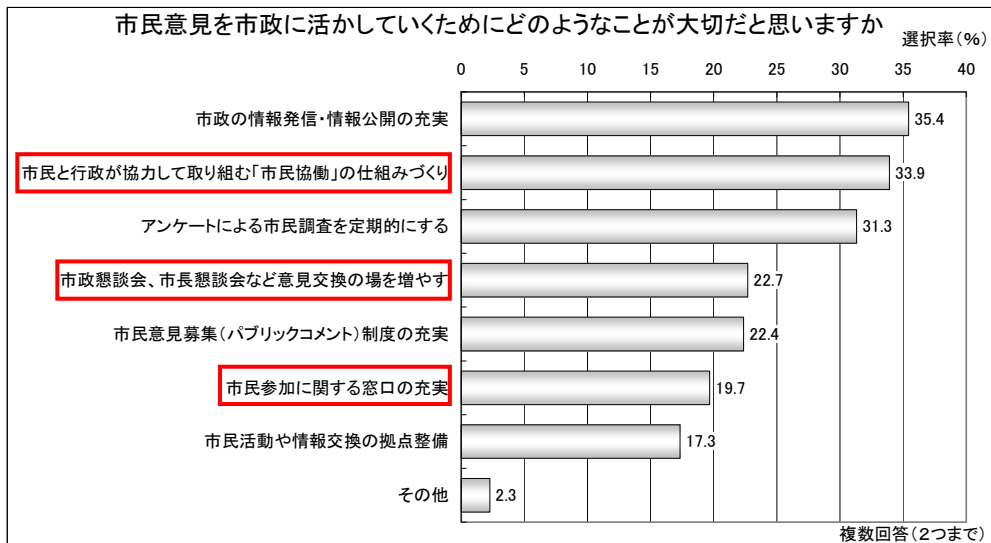
課題設定

課題4 交流・連携を支えるネットワークの構築

七尾市は、七尾西湾、七尾南湾を取り囲む4つの市町が合併したまちであり、生活空間としての一体性を確保するとともに、旧市町それぞれの生活圏での集積を活かしつつ、地域間の交流・連携により相乗効果を生み出していくことが重要です。旧市町それぞれの個性を活かしつつ、能越自動車道の整備促進や地区間を連絡する道路整備、公共交通網の充実などにより、交流・連携を支えるネットワークの構築を進める必要があります。

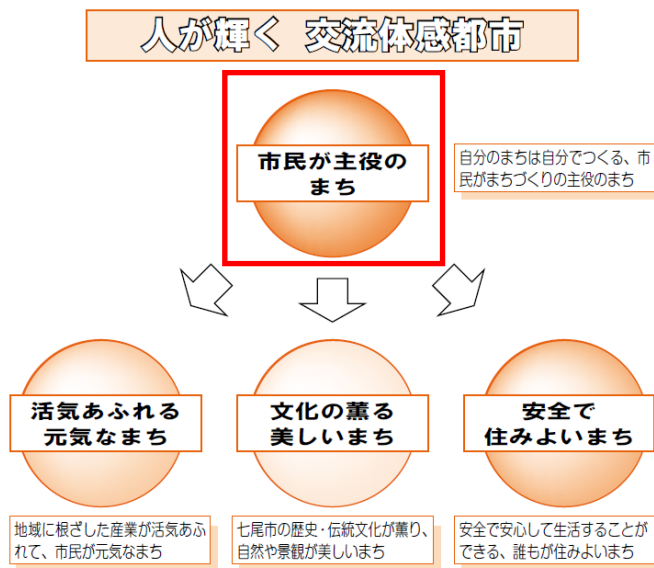
現況5 まちづくりのプロセス

市民参画に対する意識が高い



(出典：まちづくりに関する市民アンケート結果 (H19. 11))

総合計画における市民の積極的なまちづくりへの参画の位置づけ



現況のまとめ

市民参画に対する意識は高く、市民による活動も徐々に拡大しつつあります。

課題設定

課題5 市民参画によるまちづくりの普及・拡大

今後のまちづくりにおいては、地域による主体的な取り組みが重要な役割を担うため、市民があらゆる機会を通じてまちづくりに取り組むことができる環境や仕組みを整える必要があります。